

2023年1月17日

## 輸送動向について（2022年度第3-四半期）

### 1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症および原材料費高騰に伴う物価上昇による消費の低迷に加えて、12月の新潟地区を中心とした低気圧接近による風雪害等の影響を受け、自動車部品、他工業品、家電・情報機器を除く品目で前年を下回った。

紙・パルプは、紙需要減に伴う生産減により低調に推移したほか、食料工業品は、10月に行われた飲料等値上げの影響により消費が伸びず減送となった。化学薬品は、需要減や12月の風雪害影響を受け低調となった。エコ関連物資は、12月の風雪害影響に加えて、8月の大雨により10月はじめまで奥羽線が不通となっていた影響を受け、前年を下回った。

一方、自動車部品および家電・情報機器は、半導体不足および海外からの部品調達困難が緩和傾向にあり増送となった。コンテナ全体では前年比97.8%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和によりガソリンを中心に前年を上回った。車扱全体では前年比100.6%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比98.7%となった。

### 2. 輸送実績

種別 扱別	第3-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	4,900	5,012	97.8%
車 扱	2,320	2,307	100.6%
合 計	7,220	7,319	98.7%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	512	521	-9	98.2%
	化学工業品	413	420	-7	98.3%
	化学薬品	315	331	-16	95.2%
	食料工業品	763	794	-31	96.1%
	紙・パルプ	550	588	-38	93.5%
	他工業品	351	335	16	104.5%
	積合せ貨物	835	840	-5	99.4%
	自動車部品	178	155	23	115.4%
	家電・情報機器	91	84	7	108.2%
	エコ関連物資	105	118	-13	89.1%
	その他	788	827	-39	95.3%
コンテナ計	4,900	5,012	-112	97.8%	
車 扱	石油	1,611	1,583	28	101.7%
	セメント・石灰石	373	374	-1	99.7%
	車 両	223	225	-2	99.1%
	その他	114	125	-11	91.3%
車 扱 計	2,320	2,307	13	100.6%	
合 計	7,220	7,319	-99	98.7%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)